



コア通信  
Vol.67

2022年  
7月発行

夜空に美しい天の川のかかる季節に、  
コア通信「最新号」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする  
サウンドオフィス・コアのニュースレターです

### 季節に合うおすすめの1曲

QRコードから  
演奏が聴けます

#### 7月 「夏が来る」大黒摩季

1994年にリリースされた大黒摩季8枚目のシングル。  
97万枚を売り上げ、1994年5月のオリコン月間チャート  
1位を記録した。恋愛や結婚に悩む女性のリアルな目線で  
書いた歌詞が共感を呼び、大ヒットとなった。自問自答を  
繰り返し、最後には前向きにさせてくれる  
ラテンテイスト溢れる北海道出身の大黒摩季の代表曲。



#### 8月 「ラジオ体操の歌」

NHKラジオ体操のテーマ曲として、現在まで第3弾が発売されている。  
現在使われている♪新しい朝が来た～という歌いだしの曲は第3弾として、  
昭和31年に発表された。作詞は藤浦洸、作曲は昭和の国民的歌手・  
藤山一郎。新しい、希望の朝を迎えるにふさわしい爽やかな曲調である。

### 心に響く一曲 さとうきび畑 ♪ 森山良子

作詞、作曲した寺島尚彦が沖縄を訪問した際に着想した作品で、第二次世界大戦で父を亡くした少女の思いを歌っている。“ざわわ、ざわわ”と言う冒頭の印象深い歌詞は、戦死した人々が眠る夏のさとうきび畑に流れる風の音を表現。1967年に曲が生まれ、69年に森山良子がレコーディングし、75年には、ちあきなおみの歌唱により、NHKみんなのうたで紹介された。

2001年に森山良子がCDを再録音し、03年にはこの曲をモチーフにしたドラマが放送され反響を呼んだ。

ざわわ ざわわ ざわわ 広いさとうきび畑は  
ざわわ ざわわ ざわわ 風が通りぬけるだけ

(日本音楽著作権協会 (出) 許諾 第 2202360-201)

### 音楽ジャンル基礎知識シリーズ最終回！

### VOL.10 レゲエ

新商品

### 納棺演奏

最期の旅の御仕度は  
故人様のお好きな曲  
が流れる中で・・・



厳かな納棺の儀式を  
故人様のお好きな曲、  
思い出の曲が流れる  
中で進行致します。

1960年代後半にジャマイカで発祥したポピュラー音楽。2拍・4拍目にドラムの音が入る  
ロックやブルースに対し、うねるようなベースラインに、2・4拍目は、ギターのカッティング  
奏法、3拍目にドラムのアクセントを置くのが特徴的な音楽。

アクセントには、ボンゴ・ジャンベなどの打楽器を使い、穏やかなリズム感で、ゆったりとした曲調のものが多い。また、ポピュラー音楽であるスカ(裏打ちリズムが特徴)、ロックステディ(スローテンポ、ベースが特徴)から発展し、アフリカの宗教音楽などの影響を受け、社会への不満や政治、植民地主義への反抗・批判、ニュースやゴシップを歌ったメッセージ性が強い歌詞も多い。2018年には、ユネスコの無形文化遺産にも登録された。

#### ★主なレゲエミュージシャン

<海外>

ボブ・マーリー 「Redemption Song」  
ジミー・クリフ 「I Can See Clearly Now」  
トーラス・ライリー 「She's Royal」  
マクシー・プリースト 「Love Somebody」

ボブ・マーリーは音楽の神様とも言われ、  
「音に打ちのめされて傷つくものは  
いない。それが音楽のいいところさ」  
という音楽の名言も残しているよ

「踊る大走査線」の主題歌、  
織田裕二とのユニットで話題に



♪一生一緒にいてくれや～  
日本のレゲエ史上、  
初めてオリコン1位を獲得！

#### <日本のミュージシャン>

三木道三 「Lifetime Respect」  
湘南乃風 「睡蓮花」  
MINMI 「シャナナ☆」  
ランキン・タクシー 「YOROKOBI NO UTA」

#### ♪ 編集後記 ♪

さまざまなジャンルのコンサート、ライブも復活してきていますね。改めて聴く生音に感動、感謝をしています。やはり日常の潤いが違います。私の演奏で少しでも聴いて下さる方々の気持ちに寄り添えるように頑張っていきたいと気持ち新たに思います。 ♪きらそら



かたらい葬®・思い出スクリーン®の

### サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21  
クレストコート保谷403



TEL:042-421-7150 FAX: 042-422-0894  
HPアドレス: www.so-koa.jp